



明新館通信

日日新 又日新 (日日新大に又日に新大なれ)

平成26年度
第10号(通巻91号)
山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
TEL 023(672)1700
平成27年1月28日(水)発行

<行事予定>

<1月>

- 27日(火) 3年学年末テスト
- 28日(水)
- 29日(木) 学校保健委員会
- 30日(金) 第2回PTA合同役員会
- 31日(土)

<2月>

- 1日(日) 全商商業経済実務検定
- 2日(月) 安全の日
- 3日(火) 3年登校日
- 4日(水)
- 5日(木) 推薦入学者選抜
- 6日(金) 2年廊下ワックスがけ
- 7日(土) 全商ビジ 初文書実務検定
- 8日(日) ニュース時事能力検定
- 9日(月)
- 10日(火) 3年登校日
3年社会人スタート講座
- 11日(水) 建国記念の日
- 12日(木) 年間総括会議
- 13日(金) 伝票提出
- 14日(土) 2年進研マーク模試
- 15日(日) 2年実力判定テスト
- 16日(月)
- 17日(火) 3年登校日 一覧表提出
1年廊下ワックスがけ
- 18日(水) 分掌課会
- 19日(木) 2年対象企業説明会
- 20日(金) 適応指導委員会⑧
- 21日(土)
- 22日(日) 日商簿記検定
- 23日(月) 課長主任会
- 24日(火) 進路指導委員会④
- 25日(水) 職員会議
- 26日(木) 3年登校日
- 27日(金) 3年登校日
同窓会入会式
表彰式
- 28日(土)

1/20 専門学科 (食料生産科・情報経営科) 「学習成果発表会」報告

1月20日、本校多目的視聴覚室において、専門学科「学習成果発表会」が実施されました。食料生産科と情報経営科の生徒が一堂に会し、「日頃の学習成果を発表し互いに学び合い、理解を深めることから今後の学習活動の深化を図る」ことを目的として行われました。今回は、食料生産科の4グループ、情報経営科の5グループがパワーポイントを使い学習の成果を発表し、双方の学科の生徒たちが、学科の違いを越えてそれぞれの取り組みを理解する機会となりました。今年度は、食料生産科が加工製造した「ほおずきロールケーキ」や「桑」「ほおずき」「紅さやか」等を使用した焼きドーナツの販売促進に協力する情報経営科の広告づくりについての発表もあり、両学科の日頃の協同の取り組み(コラボレーション)も詳しく紹介されました。



発表のテーマと担当生徒

食料生産科

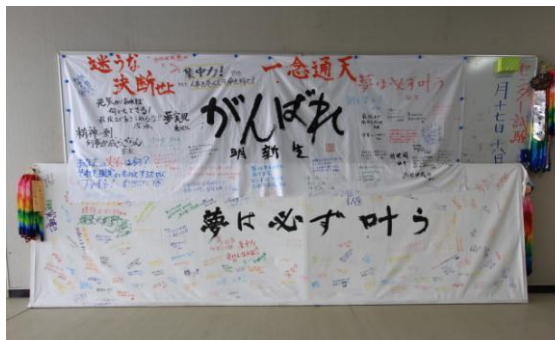
1. 「備える心を日常に ～身近な食材で保存食を作ろう～」
設楽志保 後藤優希 富樫彩 鈴木小稀 (3年)
2. 「俺らのブドウ栽培一年記」
安孫子翔 枝松寿希也 木村翼 須貝文人 武田晃輝
鈴木比呂 長岡広樹 羽島暢 (3年)
3. 「ピーマンとひまわりの種の研究」
宗片麗 井上希 寒河江萌 (3年)
4. 「柿栖 ～ヘルシーライフを送ろう!」
星智香子 岡崎詩織 柏倉瑞穂 佐藤末佳 (3年)

情報経営科

1. 「情報経営科の取り組みについて」
石沢明日香 阿部遥 (3年)
2. 「明新館ロゴマーク作成について」
志鎌こもも 寺島萌美 (3年)
3. 「明新館キャラクター制作について」
飯田瑞稀 那須千春 (3年)
4. 「広告作成について」
結城佳奈 神尾菜摘 (3年)
5. 「ホームページ作成について」
安藤伸子 鈴木まどか (3年)

1/17~18 大学入試センター試験 3年生 84名が受験！！

1月17日～18日に実施された大学入試センター試験を3年生84名が受験しました。センター試験の前日、1月16日に、本校多目的視聴覚室に受験者全員が集合し、「センター試験激励会」が行われました。寒河江校長からは「授業の中で教えてもらったことを思い出すこと。先生方の顔を思い出すこと」等のお話があり、不安を解消し全力で臨む方法を教えてくださいました。その後、自作の短歌（3学年の先生方の名字の頭文字一語を含んだ短歌）を披露し、生徒を激励していただきました。廣谷進路課長からは「本気で受けて来い」と檄が飛び、「勇気づけられたことばを書いてみよ。ことばの力は絶大」等、気持ちを落ち着けることについてアドバイスがありました。横澤学年主任からは、バレーの試合前の心境について言及があり、受験に重ねて話され、「“恐怖”があるが、どう打ち克って臨むか。今までやってきたことを信じることだ。勝利の神様はいる。降りて来ることがある。“ずる”と“弱気”には降りて来ない」とインパクトの強いメッセージが生徒たちに伝えられました。すでに進路が決定している生徒を代表し、枝松寿希也から「自分との戦いに勝って来てほしい」と激励のことばがあり、それに応え、受験者代表の藤田勇樹が「先生方や親に感謝できるように頑張ろう」と力強く決意表明しました。



教職員と生徒による激励の横断幕

県新人大会 大健闘!! 女子バスケットボール 第3位 女子バレーボール 第3位

1月10日～11日、県体育館をメイン会場に行われた高校バスケットボール県新人大会で、本校女子バスケットボール部は準々決勝で羽黒高を76-61で制し、準決勝では山形商業高と対戦。第1クォーターは持ち前の機動力で接戦でしたが、特に第3クォーターからは相手のペースを崩せず、52-71で惜しくも敗れ、第3位となりました。



1月24日～25日、山形市総合スポーツセンターで行われた高校バレーボール県新人大会で、本校女子バレーボール部は準決勝で山形商業高と対戦。第1セットを19-25で逃しましたが、第2セットは終始攻めの展開で25-20で取り、第3セットも明新館のペースで進みました。最後の最後に競り勝つことができず、惜しくも23-25で敗れ第3位となりました。女子バスケットボール部、女子バレーボール部の大健闘を心から讃えたいと思います。



1/27 食料生産科 1年生 「いのちの学習」を実施

1月27日、食料生産科1年生の授業で「いのちの学習」が行われました。実施目的に「生命循環の瞬間に触れ、いのちのつながりについて知るとともに、『生きる』ために食べなければならないことを再確認する」が掲げられています。12月と1月中旬の2回にわたって、蔵王マウンテンファーム（山形県いのちの教育講師・上山市教育委員） 山川喜市先生から事前学習をしていただき、「バター作り体験から命のつながりを考える」「屠畜から食べ物に変えるまでの経過を知る」「屠畜から私の命、生き方の見つめる」「屠畜の心構え」などについて教えていただきました。1月27日は、山川先生の指導のもとで、実際に鶏3羽を解体しました。命に感謝を捧げ、鶏のすべてを活かしチキンカレーを作り、食料生産科1年生全員で会食し、余すことなくすべて食べました。1月28日に振り返り学習を実施し、合計4回（10時間）にわたる「いのちの学習」が終了しました。山川先生は、「いのちの学習を通して、命の大切さを再認識し、強くなってほしい」と生徒一人ひとりが大きく成長することを願って、学習を進めてくださいました。

